130126

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	単位型投信／内外／資産複合
信託期間	2018年10月19日まで（2014年12月29日設定）
運用方針	高水準のインカムゲインの確保と信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要運用対象	世界各国の金融機関が発行する劣後債と優先証券等
運用方法	・世界各国の金融機関が発行する劣後債と優先証券等を主要投資対象とし、高水準のインカムゲインの確保と信託財産の成長を目指します。 ・投資を行う劣後債と優先証券等は、原則として、取得時において当ファンドの信託期間終了前に満期償還日または繰上償還の可能日が到来するものとします。 ・外貨建資産については、原則として対円で為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をはかります。
主な組入制限	・外貨建資産への投資割合は、制限を設けません。 ・１発行体等あたりの株式等、債券等およびデリバティブ等の当ファンドの純資産総額に対する比率は、原則として、それぞれ10%、合計で20%以内とします。
分配方針	毎年６月19日および12月19日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。分配対象額の範囲は、元本超過額または経費控除後の配当等収益のいずれか多い額とします。基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して、分配金額を決定します。（ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わない場合もあります。）

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。
※公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度「ＮＩＳＡ（ニーサ）」の適用対象です。
詳しくは販売会社にお問い合わせください。

運用報告書（全体版）

国際金融機関債ファンド（為替ヘッジあり）２０１４－１２

第３期（決算日：2016年６月20日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、お手持ちの「国際金融機関債ファンド（為替ヘッジあり）２０１４－１２」は、去る６月20日に第３期の決算を行いました。ここに謹んで運用状況をご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

MUFG
三菱UFJ国際投信
東京都千代田区有楽町一丁目 12 番 1 号
URL:http://www.am.mufg.jp/

本資料の記載内容に関するお問い合わせ先
お客さま専用フリーダイヤル TEL. 0120-151034
（9:00～17:00、土・日・祝日・12月31日～１月３日を除く）
お客さまのお取引内容につきましては、お取り扱いの販売会社にお尋ねください。

◆目 次

国際金融機関債ファンド（為替ヘッジあり）２０１４－１２のご報告

◇設定以来の運用実績 ･･ 1
◇当期中の基準価額と市況等の推移 ･･････････････････････････････ 1
◇運用経過 ･･ 2
◇今後の運用方針 ･･ 5
◇１万口当たりの費用明細 ･･ 6
◇売買及び取引の状況 ･･ 7
◇利害関係人との取引状況等 ･･････････････････････････････････････ 7
◇組入資産の明細 ･･ 8
◇投資信託財産の構成 ･･ 9
◇資産、負債、元本及び基準価額の状況 ････････････････････････････ 10
◇損益の状況 ･･ 10
◇分配金のお知らせ ･･ 11
◇お知らせ ･･ 11

本資料の表記にあたって

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
・－印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額				受益者利回り	債券組入比率	債券先物比率	元本残存率
	（分配落）	税込み分配金	期中騰落額	期中騰落率				
	円	円	円	%	%	%	%	%
（設定日）2014年12月29日	10,000	－	－	－	－	－	－	100.0
１期（2015年６月19日）	9,985	70	55	0.6	1.2	99.8	－	99.2
２期（2015年12月21日）	9,981	70	66	0.7	1.2	94.7	－	97.2
３期（2016年６月20日）	9,930	60	9	0.1	0.9	91.9	－	93.6

（注）設定日の基準価額は、設定時の価額です。
（注）基準価額の騰落額および騰落率は分配金込み。
（注）「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

※当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		債券組入比率	債券先物比率
		騰落率		
	円	%	%	%
（期首）2015年12月21日	9,981	－	94.7	－
12月末	9,982	0.0	93.8	－
2016年１月末	9,957	△ 0.2	97.8	－
２月末	9,790	△ 1.9	92.5	－
３月末	9,914	△ 0.7	93.5	－
４月末	9,978	△ 0.0	92.8	－
５月末	10,013	0.3	93.5	－
（期末）2016年６月20日	9,990	0.1	91.9	－

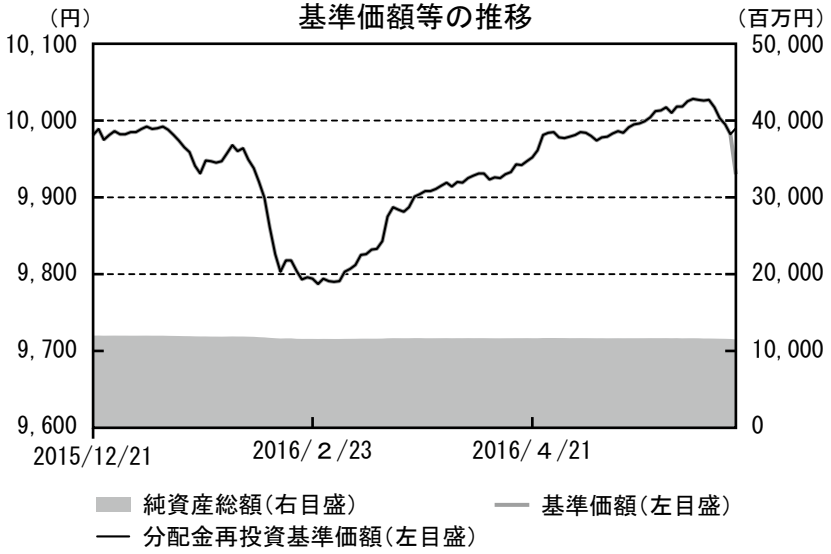
（注）期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。
（注）「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

当期中の基準価額等の推移について

（第３期：2015/12/22～2016/６/20）

基準価額の動き	基準価額は期首に比べ0.1%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。



第３期首　：　9,981円
第３期末　：　9,930円
（既払分配金　　60円）
騰落率　　：　0.1%
（分配金再投資ベース）

・分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
・実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なるため、お客さまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。
・単位型投資信託は実際には分配金は再投資されませんのでご留意ください。

基準価額の主な変動要因

上昇要因	保有銘柄の利息収入を得られたことなどが、基準価額の上昇要因となりました。
下落要因	一部の保有銘柄の利回りが上昇（債券価格は下落）したことなどが、基準価額の下落要因となりました。

投資環境について

（第３期：2015/12/22～2016/６/20）

◎社債市況

・期を通じてみると、欧米の金融機関の劣後債・優先証券市場は小幅な上昇となりました。

・期首の2015年12月は、欧米金融機関の劣後債・優先証券市場は概ね横ばいの推移となりました。米国では、米連邦公開市場委員会（ＦＯＭＣ）において、９年半ぶりとなる利上げが発表されたものの、大方の予想通りだったことから市場への影響は限定的でした。

・2016年に入ると、中国の景気減速懸念や原油価格の下落、中東での地政学リスクなどを発端に、投資家心理が急速に弱気に傾きました。特に、２月に入ると、銀行セクターにおいて市場予想を下回る業績発表があったことや、一部の銀行でＡＴ１債の利払いが見送られるとの報道があったことなどから、欧米金融機関の劣後債・優先証券市場の価格は大きく値下がりする展開となりました。

・３月以降、原油価格に底打ちの兆しが見られたことや、欧州中央銀行（ＥＣＢ）による追加金融緩和策の一つとして社債買入れ策が発表されると投資家心理は改善し、リスク回避の動きが後退したことで欧米金融機関の劣後債・優先証券市場は上昇に転じました。その後も、相場は持ち直しの動きが継続したものの、期末にかけては英国のＥＵ（欧州連合）離脱懸念などからリスクオフの動きが強まり、調整する展開となりました。

※ＡＴ１とは「Additional Tier1」の略で、中核的自己資本の一種を指します。国際的な自己資本規制「バーゼルⅢ」の下でも資本に算入できるのが特徴です。

当該投資信託のポートフォリオについて

・当ファンドは、世界各国の金融機関が発行する劣後債と優先証券等を主要投資対象とします。
・取得時において、当ファンドの信託期間終了前に満期償還日または繰上償還*の可能日が到来する劣後債と優先証券等に投資しました。
＊繰上償還とは、早期償還や買入消却等による償還をいいます。一般的に、劣後債と優先証券が繰上償還される場合には額面で償還されます。
・種別組入比率は、劣後債と優先証券等を期首94.7%とし、期末91.9%となりました。
・銘柄選定は、過去のコール（繰上償還）実績、コールに対する経営スタンス、経済合理性等を総合的に勘案し、組み入れの可否および組入比率を検討・調整しました。
・ユーロ、英ポンド、米ドルの外貨建資産については、対円で為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をはかりました。

・前記の運用を行った結果、グローバルなリスク回避局面において保有銘柄のスプレッド（国債利回りとの差）に拡大圧力がかかり価格が下落した一方、保有銘柄の利息収入を得られたことなどから、基準価額（分配金再投資ベース）は期を通してみると小幅に上昇しました。

（ご参考）

ポートフォリオの特性値

	期首（2015年12月21日）	期末（2016年６月20日）
平均終利	3.9%	4.2%
平均直利	6.0%	5.9%
平均残存年数	2.0年	1.5年
平均格付	ＢＢＢ	ＢＢＢ

格付別組入比率

格付種類	期首（2015年12月21日）比率	期末（2016年６月20日）比率
ＡＡＡ	－	－
ＡＡ	－	－
Ａ	32.7%	32.4%
ＢＢＢ	53.8%	52.0%
ＢＢ	8.2%	7.5%
Ｂ	－	－

・平均終利（複利最終利回り）とは、償還日までの利息または配当収入とその再投資収益および償還差損益も考慮した利回り（年率）をいいます。
・平均直利（直接利回り）とは、利息または配当収入部分にのみ着目した利回りで、証券価格に対する利息または配当収入の割合（年率）をいいます。
・平均残存年数は、繰上償還条項が定められている証券については、次回の繰上償還の可能日に償還されるものとして計算しています。
・平均格付とは、基準日時点において当ファンドが保有している証券の信用格付を純資産総額に対する当該証券の組入比率で加重平均したものであり、当ファンドに係る信用格付ではありません。
・比率とは、当ファンドの純資産総額に対する割合です。
・格付は、Ｓ＆Ｐ、Moody's、Fitchの格付のうち、上位の格付をＳ＆Ｐの表示方法で表記しています。（出所：Bloomberg）

当該投資信託のベンチマークとの差異について

・当ファンドは運用の目標となるベンチマーク等を設けておりません。そのため、記載すべき事項はありません。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案し、次表の通りとさせていただきました。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

【分配金】

決算期	１万口当たり分配金（税込み）
第３期	60円

今後の運用方針

◎運用環境の見通し

・Ｇ－ＳＩＦＩｓ※をはじめとする欧米の大手金融機関の自己資本比率は改善傾向にあり、流動性の厚みが増すなど安定性が高まっていることなどから、堅調なファンダメンタルズは今後も維持されると見込んでいます。また、バーゼルⅡの下で発行されてきた劣後債および優先証券については、新規の起債供給のない閉ざされた市場で、繰上償還等により市場規模は縮小の方向にあることに変わりがなく、これらの資産を投資対象とする商品設定が継続していくと見込んでおり、スプレッドは安定して推移すると思われます。

※Global Systemically Important Financial Institutionsの略で、各国の金融監督当局等で構成され国際金融に関する措置・規制・監督等の役割を担う金融安定理事会（ＦＳＢ）によって選定されるグローバルな金融システムの維持・安定に欠かせない重要な金融機関のことをいいます。

◎今後の運用方針

・引き続き、世界各国の金融機関が発行する劣後債と優先証券等への投資を維持する方針です。
・取得時において当ファンドの信託期間終了前に満期償還日または繰上償還の可能日が到来する証券を中心に投資する基本戦略を維持します。
・外貨建資産については、原則として対円で為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をはかる方針です。

○１万口当たりの費用明細

（2015年12月22日～2016年６月20日）

項　　目	当　期		項 目 の 概 要
	金　額	比　率	
	円	%	
(a) 信託報酬	45	0.451	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×（期中の日数÷年間日数）
（投信会社）	(21)	(0.215)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（販売会社）	(21)	(0.215)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(2)	(0.021)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	1	0.006	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（保管費用）	(0)	(0.004)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
（監査費用）	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
（その他）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合　　計	46	0.457	
期中の平均基準価額は、9,939円です。			

（注）期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
（注）消費税は報告日の税率を採用しています。
（注）各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
（注）各比率は１万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第３位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

（2015年12月22日～2016年６月20日）

公社債

			買　付　額	売　付　額
外国	アメリカ	社債券	千アメリカドル 1,661	千アメリカドル 1,401
	ユーロ		千ユーロ	千ユーロ
	スイス	社債券	1,743	－
	イギリス	社債券	千イギリスポンド 5,117	千イギリスポンド －

（注）金額は受渡代金。（経過利子分は含まれておりません。）
（注）社債券には新株予約権付社債（転換社債）は含まれておりません。

○利害関係人との取引状況等

（2015年12月22日～2016年６月20日）

利害関係人との取引状況

区　分	買付額等A	うち利害関係人との取引状況B	B/A	売付額等C	うち利害関係人との取引状況D	D/C
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
為替先物取引	49,341	48,600	98.5	50,239	49,292	98.1
為替直物取引	896	668	74.6	35	－	－

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第１項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱ＵＦＪ信託銀行です。

○組入資産の明細

（2016年６月20日現在）

外国公社債

（Ａ）外国（外貨建）公社債　種類別開示

区分		当期末							
		額面金額	評価額		組入比率	うちＢＢ格以下組入比率	残存期間別組入比率		
			外貨建金額	邦貨換算金額			５年以上	２年以上	２年未満
		千アメリカドル	千アメリカドル	千円	%	%	%	%	%
アメリカ		46,215	47,503	4,973,101	43.2	13.3	35.3	－	7.9
ユーロ		千ユーロ	千ユーロ						
	フランス	1,200	1,345	159,966	1.4	－	1.4	－	－
	オランダ	2,100	2,142	254,694	2.2	2.2	2.2	－	－
	スイス	2,400	2,606	309,893	2.7	－	2.7	－	－
		千イギリスポンド	千イギリスポンド						
イギリス		30,000	31,896	4,871,591	42.4	5.9	40.9	－	1.5
合計		－	－	10,569,246	91.9	21.4	82.5	－	9.4

（注）邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。
（注）組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。
（注）評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。
（注）ＢＢ格以下組入比率の計算においては、Moody'sとS&Pの格付けのうち高いものを採用しています。

（Ｂ）外国（外貨建）公社債　銘柄別開示

銘柄			当期末				
			利率	額面金額	評価額		償還年月日
					外貨建金額	邦貨換算金額	
アメリカ			%	千アメリカドル	千アメリカドル	千円	
	社債券	4.65 ROYAL BK OF 180604	4.65	5,315	5,478	573,521	2018/６/４
		5.25 PRUDENTIAL P 490329	5.25	7,300	7,432	778,088	2049/３/29
		5.5 ALLIANZ SE 491128	5.5	6,400	6,654	696,677	2049/11/28
		6.75 HBOS PLC 180521	6.75	3,000	3,232	338,443	2018/５/21
		8.25 AVIVA PLC 490429	8.25	3,600	3,797	397,574	2049/４/29
		STEP BARCLAYS BK 490929	7.434	1,500	1,560	163,316	2049/９/29
		STEP CREDIAG REGS 490529	6.637	5,800	5,831	610,517	2049/５/29
		STEP LLOYDS BK RG 491129	6.267	1,800	1,737	181,846	2049/11/29
		STEP PRUDENTIAL F 380615	8.875	3,800	4,213	441,085	2038/６/15
		STEP STANDARD CHA 490129	6.409	5,300	4,823	504,919	2049/１/29
		STEP SUMITOMO M 490729	9.5	2,400	2,742	287,109	2049/７/29
小計						4,973,101	
ユーロ				千ユーロ	千ユーロ		
フランス	社債券	STEP BNP PARIBAS 490629	7.781	1,200	1,345	159,966	2049/６/29
オランダ	社債券	STEP GENERALI FIN 491229	5.479	2,100	2,142	254,694	2049/12/29
スイス	社債券	STEP UBS AG JERSE 491229	7.152	2,400	2,606	309,893	2049/12/29
小計						724,554	
イギリス				千イギリスポンド	千イギリスポンド		
	社債券	7.75 STANDARD C 180403	7.75	1,000	1,099	167,924	2018/４/３
		STEP BNP PARIBA 491029	7.436	3,000	3,159	482,474	2049/10/29
		STEP DANSKE BANK 210929	5.375	4,200	4,363	666,481	2021/９/29
		STEP ING BANK NV 230529	6.875	3,400	3,675	561,324	2023/５/29
		STEP LEGAL & GENE 490529	6.385	4,500	4,595	701,937	2049/５/29
		STEP NATIONAL AUS 230612	7.125	3,300	3,586	547,728	2023/６/12
		STEP RSA INSURANC 490529	6.701	2,700	2,799	427,572	2049/５/29
		STEP SOCIETE GEN 490629	8.875	4,100	4,450	679,694	2049/６/29
		VAR MUNICH RE 280621	7.625	3,800	4,167	636,452	2028/６/21
小計						4,871,591	
合計						10,569,246	

（注）邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。
（注）上記のうち、償還年月日が2049年とあるのは、永久債（繰上償還条項付き）です。

○投資信託財産の構成

（2016年６月20日現在）

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
公社債	10,569,246	90.8
コール・ローン等、その他	1,064,970	9.2
投資信託財産総額	11,634,216	100.0

（注）期末における外貨建純資産（11,019,617千円）の投資信託財産総額（11,634,216千円）に対する比率は94.7%です。
（注）外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

１アメリカドル＝104.69円	１ユーロ＝118.89円	１イギリスポンド＝152.73円	

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2016年６月20日現在）

項　　目	当　期　末
	円
(A) 資産	**22,351,510,021**
コール・ローン等	605,380,805
公社債（評価額）	10,569,246,820
未収入金	11,001,084,596
未収利息	164,041,561
前払費用	11,756,239
(B) 負債	**10,849,739,913**
未払金	10,717,294,000
未払収益分配金	69,493,897
未払解約金	9,799,462
未払信託報酬	52,900,152
未払利息	556
その他未払費用	251,846
(C) 純資産総額（Ａ－Ｂ）	**11,501,770,108**
元本	11,582,316,268
次期繰越損益金	△　80,546,160
(D) 受益権総口数	**11,582,316,268口**
１万口当たり基準価額（Ｃ／Ｄ）	**9,930円**

＜注記事項＞

①設定年月日　2014年12月29日
　設定元本額　12,364,766,768円
　期首元本額　12,020,769,505円
　元本残存率　93.6%
　また、１口当たり純資産額は、期末0.9930円です。

②純資産総額が元本額を下回っており、その差額は80,546,160円です。

③計算期間末における当ファンドの配当等収益額（330,493,935円）から経費（53,600,800円）を控除した額（276,893,135円）に、期末の受益権口数（11,582,316,268口）を乗じて期中の平均受益権口数（11,812,349,447口）で除することにより分配可能額は（271,500,930円）（10,000口当たり234円）であり、うち69,493,897円（10,000口当たり60円）を分配金額としております。

○損益の状況（2015年12月22日～2016年６月20日）

項　　目	当　期
	円
(A) 配当等収益	**330,493,935**
受取利息	326,629,897
その他収益金	3,924,389
支払利息	△　60,351
(B) 有価証券売買損益	**△　220,078,052**
売買益	1,774,298,185
売買損	△ 1,994,376,237
(C) 有価証券評価差損益	**△　50,252,772**
(D) 信託報酬等	**△　53,600,800**
(E) 当期損益金（Ａ＋Ｂ＋Ｃ＋Ｄ）	**6,562,311**
(F) 前期繰越損益金	**△　22,473,050**
(G) 解約差損益金	**4,858,476**
(H) 計（Ｅ＋Ｆ＋Ｇ）	**△　11,052,263**
(I) 収益分配金	**△　69,493,897**
次期繰越損益金（Ｈ＋Ｉ）	**△　80,546,160**

（注）**(D) 信託報酬等**には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

（注）**(G) 解約差損益金**とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○分配金のお知らせ

１万口当たり分配金（税込み）	60円

◆分配金は決算日から起算して５営業日までにお支払いを開始しております。
◆課税上の取り扱い
・個人受益者が支払いを受ける収益分配金については配当所得として課税され、原則として、20.315％（所得税15％、復興特別所得税0.315％、地方税５％）の税率で源泉徴収されます。確定申告を行い、総合課税・申告分離課税を選択することもできます。

※法人受益者に対する課税は異なります。
※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。
※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。
※少額投資非課税制度「愛称：ＮＩＳＡ（ニーサ）」をご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。

＊三菱ＵＦＪ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ（http://www.am.mufg.jp/）をご覧ください。

［お知らせ］

2014年１月１日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15％に2.1％の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315％（所得税15％、復興特別所得税0.315％、地方税５％（法人受益者は15.315％の源泉徴収が行われます。））の税率が適用されます。